



宇佐市在住の視覚障がい者3名と一緒に北九州市八幡東区のラウンドアバウトの現地調査を行いました。

ラウンドアバウトは交差点への進入速度が下がることによる交通事故の抑制効果が期待できる一方で、信号機がなく音で合図することができないことから、視覚障がい者が道路を横断するタイミングがわかりにくいという課題があります。

現地調査では、実際に歩いてもらうことによりラウンドアバウトの構造を知っていただくとともに、現地での感想や安心院支所前の交差点で社会実験を行う上での具体的な意見等も頂きました。

期 日 令和元年7月7日（日）

場 所 北九州市八幡東区ラウンドアバウト

参加者 視覚障がい者 3名
ボランティア 3名

その他 大分県宇佐土木事務所 3人

